

2薬学第 57号  
令和2年12月22日

各関係機関長 様

公立大学法人 名古屋市立大学 大学院薬学研究科長  
林 秀敏 (公印省略)

臨床薬学分野(臨床薬学教育研究センター)講師の公募について(依頼)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究科では臨床薬学分野の講師(薬学部 臨床薬学教育研究センター講師兼任)の公募選考を行うことになりました。つきましては、貴機関(学部、大学院、研究機関)および関係方面に適任な候補者がおられましたら、下記の要領でご応募頂きたく、周知方お願い申し上げます。

敬具

記

所 属 : 臨床薬学分野 講師(薬学部 臨床薬学教育研究センター講師兼任)

専門分野 : 医療薬学

担当科目 : 学部における医療薬学およびそれらの関連科目の講義、実務実習事前学習、実務実習など;市立大学病院薬剤部における長期実務実習指導;大学院における医療薬学教育、研究指導など。

応募資格 : 博士の学位と一定の研究業績を有している方であること。薬局・病院薬剤部などでの5年以上の薬剤師としての実務経験を有していること。また、大学での教育経験を有していることが望ましい。

着任時期 : 令和3年4月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類 : (6部、但し5部はコピーで可)

- (1) 履歴書(指定様式)(連絡先の電子メールアドレスを明記)
- (2) 業績目録(指定様式)(取得された特許等の知的財産も含みます。過去10年間に省庁、財団などから代表者として受領された公的研究助成の研究課題と助成金額(直接経費のみ)も併せてご記入下さい)
- (3) 主要論文(総説などを含む)5編程度の別刷りまたはコピー
- (4) 主な業績(教育・研究および実務)の要約と今後の抱負(A4用紙3枚程度)。なお、ご自身の研究、教育の抱負に加え、6年制の医療薬学教育、臨床薬学実務実習への展望、薬剤師(業務)の将来像もお書き頂ければ幸いです。
- (5) 推薦状(自薦も可。ただし、問い合わせできる方の連絡先を記載のこと)

応募締切 : 令和3年2月19日(金)(郵便書留にて必着のこと)

選考方法 : 書類選考後、必要に応じてインターネットでの面談、プレゼンテーションをお願いする場合があります。

名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、業績と能力が同等なら女性を積極的に採用します。

書類提出先：〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通3-1  
名古屋市立大学大学院薬学研究科長 林 秀敏  
(封筒に、「臨床薬学分野講師応募書類在中」と朱書して下さい)  
電話（事務室） 052-836-3402  
FAX（同上） 052-834-9309  
ホームページ <https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/>

#### その他

- ・ 提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出された応募書類は、原則として返却しません（選考終了後に、適正に廃棄します）。なお、応募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信切手を貼った封筒を同封して下さい。